

新刊紹介

流星とその観測．小楨孝二郎著，（天体観測シリーズ第7巻，恒星社厚生閣発行，1967，A5版，162頁，定価 680 円）。

著者小楨氏は流星の研究にうちこんでこられた方で，本書の源流は遠く 27 年以前にさかのぼった同氏の著書「流星の研究」である．そして唯今紹介しようとする本書の旧版は 1954 年に出た．勿論時の移るにつれ以前にはなかった電波観測の成果も加えられると共に，写真観測にも力が入れている．しかしこれらの諸版をつらぬいているものは小楨氏のもっておられる流星研究への情熱であり，その意味で，古い言葉かもしれないが，本書を小楨氏流星学とでもいえばその性質をいづくすかもしれない。

本書は 9 章に大別される．第 1, 第 2 章は流星の本質とその軌道の話である．第 3 章で一応主要流星群について解説し，第 4 章が前章で見たような流星群の諸性質を知り，流星をより一層知るために行われる観測法の説明である．第 5 章の電波観測では，その主要な成果を述べ，第 6 章で観測結果の整理法が説明されている．この整理された結果から導かれる諸結果が第 7 章であり，この流

星の起源を論じるために，第 8 章で隕石と流星塵，第 9 章で流星の起源について述べてある．最後の附録は流星研究の年表，参考書，記録用紙の見本と，流星図見本 12 面が主要なものであって，本書を特色づけている．

流星は私達が容易に近づける観測対象であり，その観測は誰にも実行し易い．したがってできる限り多くの人にすすめたい観測である．小楨氏の本書は天文観測をしようとする人が是非備えておくべきハンドブックの一つだと思ふことが本書を紹介する理由である．（広瀬）

学会だより

◇東京天文台公開のお知らせ 10 月 14 日（土）午後 2 時より午後 8 時まで，本会後援のもとに東京天文台の一般公開が行なわれます．当日は各観測施設の公開，各種参考資料の展示，夜間は天体の観望が行なわれます．なお雨天の際は中止です．

◇日本天文学会会費について 本会の会費は通常会員 800 円，特別会員 2100 円となっております．なお会計年度は 4 月から翌年 3 月末までとし，年度の始めにその年の会費を前納していただくことになっております．

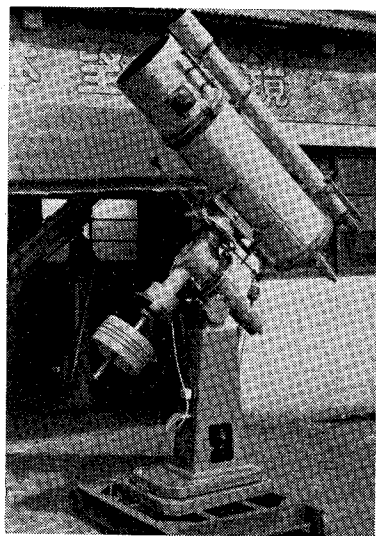
西村製の反射望遠鏡

- | | |
|----------|------------------------------------|
| 30cm “A” | カセグレン・ニュートン兼用
10cm 屈折望遠鏡 (f/15) |
| “B” | カセグレン焦点
15cm 屈折望遠鏡 (f/12) |
| 40cm “A” | カセグレン・ニュートン兼用
15cm 屈折望遠鏡 (f/15) |
| “B” | カセグレン焦点
20cm 屈折望遠鏡 (f/12) |

株式会社 西村製作所

京都市左京区吉田二本松町27
電話 (77) 1570, (69) 9589

カタログ実費90円郵券同封



30 cm 反射望遠鏡

ニュートン・カセグレン兼用